



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 群栄化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4229 URL <https://www.gunei-chemical.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)有田 喜一郎  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 執行役員管理本部長(氏名)湯浅 快哉 (TEL)027-353-1810  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,256	△10.1	970	△9.2	1,068	△8.1	716	△10.8
2020年3月期第2四半期	13,627	△0.7	1,068	17.9	1,163	15.5	803	14.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,080百万円 (15.5%) 2020年3月期第2四半期 935百万円 (73.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	107.79	—
2020年3月期第2四半期	116.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	49,536	42,494	82.7
2020年3月期	50,626	42,020	79.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 40,984百万円 2020年3月期 40,418百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2021年3月期	—	40.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,600	△8.8	1,300	△32.9	1,500	△30.0	1,100	△19.7	164.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	8,998,308株	2020年3月期	8,998,308株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,369,349株	2020年3月期	2,277,870株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	6,651,092株	2020年3月期2Q	6,929,010株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響を受け、経済活動の停滞や個人消費の低迷等により急速に悪化しました。緊急事態宣言解除後は徐々に経済活動が再開し持ち直しの動きがみられるものの、先行きは依然不透明な状況となっております。

このような環境下において、当社グループでは、IT技術を活用した働き方改革や業務改善に積極的に取り組むと同時に、市場、顧客ニーズの探索に注力し、これまで培ってきた当社グループの技術を活かした提案型営業活動の強化に努めるなど、更なる事業基盤の強化を図ってまいりました。

化学品事業においては、電子材料向け樹脂は、世界的なテレワーク等の拡大により、液晶向け及び半導体向け製品が堅調に推移しました。一方、その他用途向けは総じて新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、建築関連向け樹脂は、住宅着工件数の減少や建設工事の延期や中止等により低調に推移しました。また、自動車関連向け樹脂については、足元は回復基調にあるものの、顧客の稼働率低下の影響を受け低調に推移しました。以上の結果、化学品事業は減収となりました。

食品事業においては、いわゆる「巣ごもり消費」の増加により酒類向け製品は増加しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛及び各種イベントの中止に加え、夏場の天候不順の影響を受け清涼飲料向け製品が低調に推移するなどした結果、減収となりました。

不動産活用業は、ほぼ前年並みで推移いたしました。

以上の結果、当社グループの売上高は前年同期比10.1%減少の12,256百万円となりました。利益面では、売上高の減少等により、営業利益は前年同期比9.2%減少の970百万円、経常利益は前年同期比8.1%減少の1,068百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比10.8%減少の716百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べ1,089百万円減少し、49,536百万円となりました。これは、主に売上高の減少により売上債権が減少したことによるものです。

負債合計は前連結会計年度末と比べ1,563百万円減少し、7,042百万円となりました。これは、主に売上高の減少により仕入債務が減少したこと及び前連結会計年度の設備投資に伴う設備関係未払金が当連結会計年度に決済されたことにより減少したことによるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ473百万円増加し、42,494百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと及び有価証券の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年9月15日発表の通期の数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,400	7,159
受取手形及び売掛金	7,532	6,642
有価証券	3,199	2,800
商品及び製品	2,266	2,212
仕掛品	679	720
原材料及び貯蔵品	1,133	1,196
その他	231	169
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	21,440	20,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,864	22,843
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,258	△16,427
建物及び構築物(純額)	6,606	6,416
機械装置及び運搬具	32,701	32,562
減価償却累計額及び減損損失累計額	△28,918	△29,168
機械装置及び運搬具(純額)	3,782	3,394
土地	7,969	7,969
リース資産	185	138
減価償却累計額及び減損損失累計額	△95	△40
リース資産(純額)	90	98
建設仮勘定	34	313
その他	3,113	3,083
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,640	△2,645
その他(純額)	473	437
有形固定資産合計	18,956	18,630
無形固定資産		
のれん	481	407
その他	71	70
無形固定資産合計	552	477
投資その他の資産		
投資有価証券	8,185	8,245
その他	1,566	1,359
貸倒引当金	△75	△74
投資その他の資産合計	9,677	9,529
固定資産合計	29,185	28,637
資産合計	50,626	49,536

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,603	3,007
1年内返済予定の長期借入金	450	150
未払金	1,610	754
未払法人税等	295	296
賞与引当金	339	370
その他	114	274
流動負債合計	6,413	4,853
固定負債		
環境対策引当金	7	5
固定資産撤去引当金	22	22
退職給付に係る負債	1,543	1,542
その他	619	618
固定負債合計	2,192	2,188
負債合計	8,605	7,042
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	25,690	25,690
利益剰余金	14,934	15,372
自己株式	△5,975	△6,226
株主資本合計	39,649	39,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	554	1,036
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	217	108
退職給付に係る調整累計額	△2	2
その他の包括利益累計額合計	769	1,147
非支配株主持分	1,601	1,510
純資産合計	42,020	42,494
負債純資産合計	50,626	49,536

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	13,627	12,256
売上原価	10,657	9,424
売上総利益	2,970	2,832
販売費及び一般管理費	1,901	1,861
営業利益	1,068	970
営業外収益		
受取利息	28	24
受取配当金	71	57
その他	26	18
営業外収益合計	125	100
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	4	—
訴訟関連費用	20	—
その他	4	1
営業外費用合計	31	2
経常利益	1,163	1,068
特別利益		
退職給付引当金戻入額	131	—
その他	0	0
特別利益合計	131	0
特別損失		
固定資産処分損	157	4
その他	2	—
特別損失合計	159	4
税金等調整前四半期純利益	1,135	1,064
法人税、住民税及び事業税	254	260
法人税等調整額	8	30
法人税等合計	263	291
四半期純利益	871	773
非支配株主に帰属する四半期純利益	67	56
親会社株主に帰属する四半期純利益	803	716

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	871	773
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	478
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	81	△177
退職給付に係る調整額	10	4
その他の包括利益合計	63	306
四半期包括利益	935	1,080
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	831	1,095
非支配株主に係る四半期包括利益	103	△15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、商品及び製品等の販売について、従来は出荷時に収益を認識しておりましたが、着荷時に収益を認識する方法に変更しております。また、代理人として行われる取引については、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、純額で収益を認識する方法に変更しております。さらに、買戻し契約に該当する有償支給取引については、従来は支給先から受け取る対価を収益として認識しておりましたが、当該収益を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高が128百万円減少し、売上原価は124百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ4百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は9百万円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計 (注)
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	
売上高				
外部顧客への売上高	10,952	2,552	122	13,627
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	10,952	2,552	122	13,627
セグメント利益又は損失(△)	1,056	△69	82	1,068

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計 (注)
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	
売上高				
外部顧客への売上高	9,833	2,299	122	12,256
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	9,833	2,299	122	12,256
セグメント利益	877	9	84	970

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「化学品事業」の売上高が130百万円減少、セグメント利益が3百万円減少し、「食品事業」の売上高が1百万円増加、セグメント利益が1百万円減少しております。